

1. 環境経営方針

[基本理念]

株式会社シントーは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、企業のあらゆる面で地球環境の保全に配慮して行動し、それと共に住みよい地域の発展に貢献することとして、基本方針を定める。

〈社是〉 良い品を安く造る

〈社訓〉 一、互に敬愛し信頼と善意とを以て社内生活を明朗にする

一、強い責任感を以て職分を遂行する

一、技術の向上習熟と創意工夫とを重んずる

一、質素を旨とし節度と礼儀とを重んじ心身を健全にする

[基本方針]

プラスチック製品の製造に関わる全ての生産又は消費活動とこれらの製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境関連法令並びに、同意したその他の要求事項を遵守し、環境経営システムにより下記の項目について継続的な改善を進めます。また、SDGsの取り組みにもチャレンジしていきます。

イ) 地球温暖化抑制運動の推進に努めます。



ロ) 事業設備からの機械作動油及び、プラスチック原材料の漏洩防止に努めます。



ハ) 廃棄物の分別適正処理を行うと共に、廃棄物処理の削減に努めます。

ニ) 事業設備及び、事務所に係わる天然資源（電気エネルギー・自動車燃料・上下水道・ガス）等の使用量削減に努めます。



ホ) グリーン購入を積極的に推進します。



3.全従業員に環境方針並びに地球環境の大切さを教育し、意識の高揚及び保全活動を推進するため全ての組織、従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

4.社内の連携を密に、海外メーカーに負けない効率的で高品質な「ものづくり」を心がけ、生産工程から発生する環境負荷の低減に取り組むと共に恒久的な環境に配慮した経営を推進します。

5.環境経営方針及び環境経営活動レポートは社外の求めに応じて開示します。

制定日:2023年06月21日

株式会社 シントー

代表取締役

横 瀧 玲 子 

2. 対象範囲

認証登録範囲は本社、宮城営業所、山形工場の全ての活動
(活動期間 2022年4月1日～2023年3月31日)

3. 組織の概要

■事業者名及び代表者名

株式会社シントー 代表取締役社長 横瀧 玲子

■所在地

本社 千葉県松戸市南花島1丁目4-3-301 山形工場 山形県新庄市福田字福田山711-54
 TEL : 047-375-8183 FAX:047-375-8184 TEL : 0233-22-6557 FAX:0233-22-9559
 URL http://www.sintoh.co.jp 宮城営業所 宮城県亶理郡亶理町大字新町59-6
 TEL : 0223-35-7910 FAX:0223-35-7911

■環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境推進責任者 大友 久芳 事務局担当者 佐藤 美紀 (山形工場)

■事業の内容

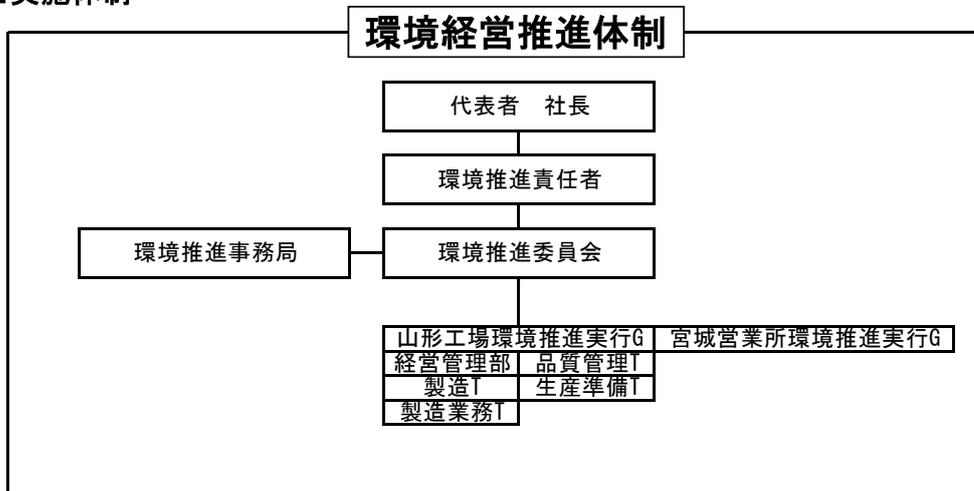
本社 山形工場 : プラスチック製品の製造 (射出成形及び組付け)

■事業の規模	2022年度 活動規模	単位	本社	山形工場	宮城営業所
			生産量	t	—
出荷額	百万円	—	348.5	—	
従業員	人	2	23	5	
床面積	m ²	49.47	2,301.28	235.37	

■沿革 1931年 8月 東工舎創立

- 1989年 5月 山形県新庄市に敷地18,327㎡ (5,553坪) を取得 (現: 山形工場)
- 1995年 12月 (株)東工舎 (現: 東京工場) と (株)シントー (現: 山形工場) が合併して (株)シントーとなる
- 2000年 11月 株式会社リコー、環境マネジメントシステム登録工場取得
- 2006年 11月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (山形工場)
- 2007年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム認証取得 (東京工場)
- 2008年 8月 ISO9001品質マネジメントシステム認証取得 (東京・山形工場)
- 2009年 9月 エコアクション21環境マネジメントシステム、東京工場、山形工場認証統合登録番号: 0000963
- 2011年 11月 ISO9001: 2008認証更新 審査登録証 Q1295
- 2017年 12月 ISO9001: 2015認証更新 審査登録証 QMJ: 0021
- 2018年 1月 本社を足立区に移転、生産拠点を山形工場に移設
- 2019年 11月 宮城営業所 (宮城県岩沼市) を開設
- 2020年 10月 本社を千葉県松戸市に移転
- 2021年 2月 宮城営業所を宮城県亶理町に移転

■実施体制



4. 環境関連法規制への違反・訴訟等の有無

(株) シンソーでの事業活動にかかわる、全ての関連法規を抽出、整理し、取りまとめています。

主な関連法規	対象物	主な関連法規	対象物
騒音規制法・振動規制法	射出成形機・コンプレッサー・粉砕機	電気事業法	自家用電気設備
廃棄物処理法	廃プラ・廃油・水銀使用製品	PCB廃棄物特別措置法	コンデンサー、トランス
消防法	消防用設備	フロン排出抑制法	第一種特定製品(業務用エアコン)
大気汚染防止法	小型ボイラー	省エネ法	電気・重油・灯油・ガソリン等
浄化槽の管理	浄化槽	火災予防条例	危険物(重油・機械作動油・灯油等)
家電リサイクル法	廃棄する家電4品		

※国・都・県・区・市関係の法規制等(改正)については、常に入手できるように1年毎に
関係機関(都、区、監署、工業部会)のホームページへアクセスして対応しています。

※遵守状況は6月に確認、遵守されています。

公害防止関連の規制、廃棄物リサイクルに関する規制、消防等の

規制違反について、関係機関から過去5年間に指摘は無く、訴訟等もありません。

5. その他の活動 ①・②【山形】 ③【全社】

① 工業団地内清掃活動

② 工場内除草作業(除草剤・草刈り機使用)

③ SDGsへの取り組み

- ・社員全員で終業時刻20分前から毎日清掃活動(5S活動)
- ・不使用電気機器の電源OFF休憩時の消灯実施
- ・裏紙利用・データメール送付の活用の継続



6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組内容

・環境経営目標(単年度・中長期)

環境経営目標項目	単年度目標	中長期目標(3年)	
	2022年度目標 (2022.4~2023.3)	2021年度基準年	2022年4月~2024年3月 (3年)
1 電力使用量の削減	2021年同期比1%削減	2024年度までに2021年度実績値の3%削減を目指す	
2 廃棄物排出量の削減	2021年同期比1%削減	2024年度までに2021年度実績値の3%削減を目指す	
3 水道使用量の削減	2021年同期比1%削減	2024年度までに2021年度実績値の3%削減を目指す	
4 CO2排出量の削減	2021年同期比1%削減	2024年度までに2021年度実績値の3%削減を目指す	
5 生産性向上活動(客先クレーム件数低減の達成)	2021年同期比1%増加	2024年度までに2021年度実績値の3%削減を目指す	
6 グリーン購入推進	現状把握	グリーンマーク商品を優先的に購入する	

<山形工場>

《評価基準》受注量に変動があり、それに伴い機械稼働率も変動する為、売上高当たり(売上百万円あたりの使用量・排出量)で換算し結果を評価した。(下段表示)

項目	単位	2021年度	2022年度
売上高	百万円	334.80	348.50

No	取組項目(年間)	単位 評価基準	2021年度	2022年度	2022年度	増・削減率	評価	2023年度	2024年度	
			実績値	目標値 (1%減)	実績値			目標値 (2%減)	目標値 (3%減)	
1	電力使用量	全社	kwh	633,479	627,144	620,071	-2%	○	620,809	614,475
		山形	kwh	616,726	610,559	604,880	-2%	○	604,391	598,224
			kwh/百万円	1,842	1,824	1,736	-6%	○	1,805	1,787
		本社	kwh	1,274	1,261	1,150	-10%	○	-	-
	宮城	kwh	15,479	15,324	14,041	-9%	○	15,169	15,015	
2	廃棄物排出量 (単純焼却 最終処分量)	全社	Kg	21,215	21,003	11,550	-46%	○	20,791	20,579
		山形	Kg	21,215	21,003	11,550	-46%	○	20,791	20,579
			kg/百万円	63.37	63	33.14	-48%	○	62	61
		本社	Kg	-	-	-	-	-	-	-
	宮城	Kg	-	-	-	-	-	-		
3	上水道使用量	全社	m3	1,046	1,036	1,640	57%	×	1,025	1,015
		山形	m3	738	731	1,387	88%	×	723	716
			m3/百万円	2.20	2	3.98	81%	×	2	2
		本社	m3	10	10	3	-70%	○	-	-
	宮城	m3	298	295	250	-16%	○	292	289	
4	CO2排出量	全社	Kg-co2	355,528	351,973	344,950	-3%	○	348,417	344,862
		山形	Kg-co2	327,307	324,034	320,177	-2%	○	320,761	317,488
			Kg-co2/百万円	978	968	919	-6%	○	958	949
		本社	Kg-co2	3,851	3,812	531	-86%	○	-	-
	宮城	Kg-co2	24,370	24,126	24,242	-1%	○	23,883	23,639	
5	品質改善活動(客先クレーム件数低減)の達成	山形	0件以下達成月	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	○	(2%増加) 100.0%	(3%増加) 100.0%
6	グリーン購入	山形 本社 宮城	積極的にグリーン購入の推進を行う。対象品目が多岐にわたる為、実績値は出さず現状把握する。							

※二酸化炭素排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油の合計とし、H30(2018年)12.27公表の排出係数を使用。

本 社 : 東京電力排出係数0.462kg-co2/kwhを使用

山形工場 : 東北電力排出係数0.523kg-co2/kwhを使用

下段(売上百万円あたり使用量)

宮城営業所 : 認証初年度の為実績値のみ計上

※化学物質は使用していない。



7. 環境経営計画に基づき実施した取組結果評価及び次年度への取組課題

○：十分に取組んだ

×：取組不十分

△：一部取り組めていない

No	環境経営計画	環境活動項目	取組結果と評価	評価	次年度への取組課題
1	電力使用量の削減	自社、省エネルギーの遵守	不使用電気機器の電源OFF休憩時の消灯実施。休憩時、一部消灯されていない箇所は発見次第即消灯。周知徹底を図った。	○	継続して省エネルギーを実施する。朝礼・ミーティング等を利用し節電の徹底を周知していく。ポスターによる節電の呼びかけを行う。
		成形機の効率的稼働	朝の機械への熱の入れ方をずらして、朝時点のデマンド最大値を減らしている。	○	成形機の24時間連続稼働が予定されている為、効率的な生産を行っていく。
		デマンド管理システムによる監視・低減	デマンド設定値を変更していない。事務所、工場でのデマンド管理システムの活用が不十分だった。	△	デマンド設定値を継続して管理し、デマンド管理システムを有効に活用していく。実際にデマンド管理システムを導入している他社の取組みをインターネット等にて分析し取り入れられる様努める。
		設備の見直し	第一工場の13台の電灯をLEDに変更。その他、各部屋の電灯のLED化はほぼ完了。人感センサーを4箇所設置。駐車場の照明をヤマ仕様に変更。	○	工場の照明の残り13箇所のLED化を進める。
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別・処理の徹底	重りで廃棄物を圧縮し、一度の回収でより多く廃棄出来る様、料金節約に努めた。継続して毎日一定の清掃時間を設け、社員一丸となり工場内の整理整頓、廃材の材質別に設置してあるリサイクル回収袋への分別を徹底した。	○	長期間成形作業が無く保管しかされていない金型について、廃棄・引き取り等の客先との対応協議を進めていく。
		紙類の再使用化及び排出低減	必要に応じて裏紙利用・メールの活用を継続している。客先納品書等に使用する専用紙は印刷方法を工夫し無駄遣いしない様に取り組んでいる。受取り荷物中の梱包材等不要な紙類は出来るだけリサイクルするよう心掛けている。	○	裏紙利用・電子メール送付を活用し低減に取り組む。ポスターの継続使用を見極め分別を守りリサイクル率向上を目指す。
		不良品低減による廃材排出削減	岡部商店のリサイクル回収が始まり、オール環境サービス(株)の産廃物回収を大幅に減らすことが出来た。	○	不良品低減の為、工程上起きる不良の原因を考察し、根治の為の取り組みを行う。
3	水道使用量の削減	節水全般	より目に留まりやすい箇所への新ポスター掲示による節水の呼びかけ。パトロールでの見回りを実施した。音姫利用。	○	流しっぱなしの防止、節水行か、掲示物等の継続で節水を喚起。掲示していない箇所へのポスターの掲示の徹底。
		設備の漏水点検	5月に事務所棟2階女子トイレ(洋式側)にて水漏れが発生。更に酷暑の影響で冷媒の冷却機能が著しく低下。ケリケリ修繕まで排水して冷媒の交換が必要の為、水道使用量が非常に大きくなっていった。9月にケリケリ修繕完了し、冷却水の排出が不要になった為23年度の使用量は大幅に改善する見込み。	△	定期点検、社内パトロールでの早期発見、修理。
		水道使用量の管理			1回/日の水道メーターチェックで前日との対比、異常の早期発見につなげる。冬期間は特に水道管の凍結・破裂に引き続き警戒する。
		設備の見直し			
4	CO2排出量の削減	電気、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。	省エネルギーに基づき活動を実施し電気・廃棄物は削減出来たが、水道は削減目標を達成出来なかった。	△	電力、廃棄物、水道使用量の取り組みを実施してCO2の削減につなげる。
		ガソリン使用量の削減	フレド会議を多く活用した為、拠点間の定期的な移動も必要最小限に留められ、ガソリン使用量の減少に繋がった。移動の際は可能な限り乗り合いするよう心掛けている。	○	近場の客先への納品を自社便にする方針。その為、輸送便の効率化、有効活用を推進し、CO2排出量の低減を図る。
		エコドライブの推奨			エコドライブの推奨(掲示物等)
5	生産性向上の推進	ISO(QMS改善活動)客先クレーム(ロットアウト・ラインクレーム)件数削減活動実施	職場環境向上、5Sを徹底することにより、業務の効率化、不具合品の流出防止に繋がった。	○	社員が一番効率良く仕事出来る職場環境を作り、生産性向上を図る。
6	グリーン購入の推進	事務用品、備品等CO2対象品を優先的に購入する。	備品・事務用品を中心に購入時に優先してグリーン商品を購入している。	○	事務消耗品、日用品に限らず、購入都度マーク等のグリーン商品を確認、検討、可能な限り転換する。

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

環境経営計画に沿って目標達成に向け社員一丸となって進めてきたことは評価できる。但し環境経営計画目標の一部に目標未達の部分がある。未達理由を明確にして目標達成に向け環境経営計画の改訂、目標の再設定を実施しスピードを持って改善、改革を実践し目標を達成してもらいたい。

特に、今回の活動において顧客と素材納品、完成品納品を顧客と共同によりトラックを相互に活用する事により省エネ化、CO₂排出削減に貢献出来た事は評価できる。

地球環境(温暖化、気候変動)が益々厳しくなっていく事を踏まえ、環境経営方針、SDGS活動は重要度が増してきている。依って環境経営計画目標達成を目指しスピードを持って改善、改革活動を全社一丸となって進めてもらいたい。

2023年度環境目標及び環境経営計画

2021年度基準年として-2%削減を目標とする。

2023年4月～2024年3月

No	環境経営計画	環境経営目標	単位	環境活動項目	責任部門 責任者	スケジュール 4月～3月
1	電力使用量の削減	電力使用量 全社 620,809 山形 604,391 宮城 15,169	Kwh	自社、省エネルギー・ルールの遵守 成形機の効率的稼働 デマンド管理システムによる監視・低減 設備の見直し	製造T 国分	(左記達成手段全て) →
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量 全社 20,791 山形 20,791 宮城 0	Kg	廃棄物の分別・処理の徹底 紙類の再使用化及び排出低減 不良品低減による廃プラ排出削減	製造業務T 木村	(左記達成手段全て) →
3	水道使用量の削減	水使用量 全社 1,025 山形 723 宮城 292	m ³	節水全般 設備の漏水点検 水道使用量の管理 設備の見直し	生産準備T 笹原	(左記達成手段全て) →
4	CO2排出量の削減	CO2排出量 全社 348,417 山形 320,761 宮城 23,883	Kg-CO2	電気、廃棄物、水道の削減計画を確実に実行。 カギリン使用量の削減 エコドライブの推奨	製造業務T 佐藤(美紀)	(左記達成手段全て) →
5	生産性向上活動の推進	山形 100%	%	ISO(QMS改善活動)客先クレーム件数削減活動実施	品質管理T 浅沼	(左記達成手段全て) →
6	グリーン購入推進	山形 宮城	-	事務用品、備品等CO2対象品を優先的に購入する。	製造業務T 佐藤(美紀)	(左記達成手段全て) →